

# 「ホワイト物流」推進運動

## 持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

企業・組合名	役職	氏名	所在地	主たる事業	ホームページ
マルイチ・ロジスティクス・サービス株式会社	代表取締役社長	宮島雄二	長野県	サービス業(他に分類されないもの)	http://maruichi-logistics.com

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

最終更新:	
-------	--

**(取組方針)**

・事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組めます。

**(法令遵守への配慮)**

・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。

**(契約内容の明確化・遵守)**

・運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。

No.	分類番号	取組項目	取組内容
1	A	・物流の改善提案と協力 『納品先の検品作業簡略化』 →ドライバー納品先付帯作業短縮	・納品時に、配送商品と納品伝票による付け合わせ＝「検品作業」を実施する事が納品要件の納品先に対して前工程の構内作業における検品の実施、または物流仕分けシステムの活用による納品制度向上を担保に検品作業の簡略化、または「無くす事」を取組みます。荷主と協力し、ドライバーの拘束時間短縮させるため、配送コースの見直しを実施しました。
2	A	・パレット他の活用 『納品先専用マテハンへの移行』 →ドライバー納品先付帯作業短縮	・商品をトラックに積載する際、通常ならば弊社物流センターで使用している標準カーゴ車を使用し、納品先にて納品先指定の什器に移し替えるが、その付帯作業を無くすべく、出発時点から納品先使用の什器に積み込み、納品を実施致します。専用マテハン購入し、納品実施しました。(6輪カート)
3	A	・集荷先や配送先の集約 『2つあった冷凍物流拠点を1つに集約』 →横持ち運行及びCO2排出削減	・冷凍物流拠点を集約する事により、配送車両発着を集約し、無駄な横持ち運行(拠点間輸送)を削減し生産性向上に貢献します。
4	B	・運送契約の方法 『運送契約は書面化』 →口頭での業務依頼撲滅	・運送契約はすべて書面化致します。またその際「燃料サーチャージ」も必ず適用させます。
5	D	・荷役作業時の安全対策 『配送時のマテハン有効活用』 →安心/安全な運行と省人化	・配送時には必ずマテハン(カーゴ車)を使用します。また配送車両も全車両パワーゲートを装備し、女性ドライバーや高齢者でも安心して配送/納品が出来る環境を整備します。さらにフォークリフトの免許が無い方でも作業できるようハンドリフトも物流センター内に必ず保持致します。
6	D	・異常気象時等の運行の中止 『異常気象時における運行中止』 →配送ドライバーの安全第一	・豪雪/豪雨/火災/地震他の発生時には、運行か運行中止かを配送ドライバーの安全を第一優先として決定します。(意思決定する専門機関を社内に都度設置します)

PR欄	<p>◇「実運送機能」を持たず、「利用運送事業」を主とする弊社にとって、一番の強みは「荷主目線」と「運送会社目線」双方の目線/考え方を俯瞰的に観察出来る事。即ち『事業者も荷主も運送会社も全員が幸せになれる方法』を唯一生み出せる『最適輸送のコーディネーター』として、今後の物流事業の安定化と改善の推進に努めて参ります。</p>
-----	--